

公開講演会

ヨーロッパ統合と国境

1993年のEU(ヨーロッパ連合)の成立により、加盟国全体を領域とする単一市場が形成されました。その後シェンゲン協定の本格発効により、加盟国間の多くにおいて国境管理自体が撤廃されました。このようにEU域内における国境のもつ意味は意図的に希薄化されてきましたが、その境界線や各国の文化、国民的アイデンティティが消滅するわけではありません。もとよりヨーロッパの国境が歴史的にどのような意味をもち、それがヨーロッパ統合の流れの中でどのような変化を遂げてきたのか。本講演ではそれを身近なエピソードとともにお話します。

開催日時

令和5年 **7月16日** 日

講演時間 14:00~15:30 (1時間30分)

受付開始 13:00~

講師

国立大学法人
東海国立大学機構
名古屋大学大学院経済学研究科

ふくざわ なおき

福澤 直樹 教授

専門分野 西洋経済史



会場

名古屋大学経済学部
第2講義室 (法・経本館共用館1階)

※対面のみ。ライブ配信なし。

定員

150名

対象:一般の方

参加費
無料

要事前申込・先着順

7月8日(土)
申込締切予定

申込方法は裏面へ